



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月28日

上場会社名 株式会社エフ・シー・シー 上場取引所 東
 コード番号 7296 URL http://www.fcc-net.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 年真
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業管理統括 (氏名) 松本 隆次郎 TEL 053-523-2400
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年11月26日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て表示)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	70,910	16.2	6,474	25.3	7,377	47.0	7,595	132.6
25年3月期第2四半期	61,002	12.5	5,168	21.6	5,019	18.9	3,265	19.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 6,803百万円 (433.2%) 25年3月期第2四半期 1,275百万円 (30.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	151.33	—
25年3月期第2四半期	65.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	127,530	102,994	75.6
25年3月期	122,258	97,491	73.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 96,463百万円 25年3月期 89,353百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
26年3月期	—	20.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	142,000	12.5	13,000	18.6	14,000	6.7	11,300	42.3	225.15

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社 （社名）FCC AUTOMOTIVE PARTS DE MEXICO, S.A. DE C.V.、除外 1社 （社名）－

（注）詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	52,644,030株	25年3月期	52,644,030株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,455,138株	25年3月期	2,455,138株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	50,188,892株	25年3月期2Q	50,188,972株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、主にインドネシア、インド等における二輪車用クラッチ販売及び北米における四輪車用クラッチ販売が増加したことに加え、円安の進展により売上高は70,910百万円（前年同期比16.2%増）、営業利益は6,474百万円（前年同期比25.3%増）となりました。また、主に為替差益の発生等により経常利益は7,377百万円（前年同期比47.0%増）、税金等調整前四半期純利益は7,983百万円（前年同期比60.1%増）となりました。四半期純利益は移転価格税制に基づく更正処分にかかる相互協議の合意に伴う税還付もあり7,595百万円（前年同期比132.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 二輪車用クラッチ

主にインドネシア、インド等における二輪車販売が順調に推移したことに加え、円安の進展により売上高は38,745百万円（前年同期比15.7%増）となりました。セグメント利益は新興国における労務費高騰等による影響があったものの4,056百万円（前年同期比23.0%増）となりました。

② 四輪車用クラッチ

主要顧客のトランスミッションのCVT化及び日本におけるエコカー補助金終了等による影響はあったものの、北米における主要顧客の生産及びフォード向け販売の増加に加え、円安の進展による影響もあり売上高は32,164百万円（前年同期比16.9%増）、セグメント利益は2,418百万円（前年同期比29.4%増）となりました。

地域別の状況は次のとおりであります。

① 日本

エコカー補助金終了による影響、並びに四輪車用クラッチにおける一部製品の海外拠点への生産移管等により売上高は14,082百万円（前年同期比17.0%減）となりました。営業利益は海外子会社向け部品・原材料販売及びロイヤリティー収入の増加等もあり2,150百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

② 北米

主要顧客のトランスミッションのCVT化による影響はあったものの、緩やかな景気回復に支えられ、主要顧客の四輪車生産及びフォード向け販売も増加したことに加え、円安の進展による影響もあり売上高は20,308百万円（前年同期比42.1%増）、営業利益は1,140百万円（前年同期比81.0%増）となりました。

③ アジア

主にインドネシア、インド等における二輪車用クラッチ販売が順調に推移したことに加え、円安の進展により売上高は34,728百万円（前年同期比24.7%増）となりました。営業利益は労務費高騰等による影響があったものの2,997百万円（前年同期比29.9%増）となりました。

④ その他の地域

ブラジルにおける二輪車販売の低迷により売上高は1,791百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は189百万円（前年同期比34.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は127,530百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,271百万円増加いたしました。流動資産は64,085百万円となり、1,158百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が1,665百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は4,113百万円増加し、63,444百万円となりました。これは主に有形固定資産が3,640百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は24,536百万円となり、前連結会計年度末に比べ230百万円減少いたしました。流動負債は18,922百万円となり、438百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が607百万円、短期借入金が195百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は5,613百万円となり、207百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は102,994百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,502百万円増加いたしました。これは主に少数株主持分が1,607百万円減少したものの、利益剰余金が6,691百万円増加したことによるものであります。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は23,293百万円となり、前連結会計年度末に比べ75百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は6,256百万円（前第2四半期連結累計期間は4,913百万円の獲得）となりました。

これは主に売上債権の増加1,959百万円、法人税等の支払額3,581百万円等の資金の減少要因はありましたが、税金等調整前四半期純利益7,983百万円、減価償却費3,539百万円、法人税等の還付等1,036百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は4,915百万円（前第2四半期連結累計期間は3,933百万円の使用）となりました。

これは主に貸付金の回収による収入が2,885百万円となったものの、有形固定資産の取得による支出6,124百万円、貸付けによる支出2,115百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は1,675百万円（前第2四半期連結累計期間は1,210百万円の使用）となりました。

これは主に配当金の支払額904百万円、少数株主への配当金の支払額538百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の連結業績見通しにつきましては、新興国の通貨安等の影響もあり、平成25年7月26日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました予想値を次のとおり修正しております。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

平成26年3月期通期連結業績予想値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	144,000	13,000	14,000	11,300	225.15
今回修正予想 (B)	142,000	13,000	14,000	11,300	225.15
増減額 (B-A)	△2,000	—	—	—	
増減率 (%)	△1.4	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	126,245	10,964	13,124	7,942	158.26

※ 主要通貨の第2四半期連結累計期間実績、第3・第4四半期連結会計期間及び通期の想定為替レートは次のとおりです。

	第2四半期連結 累計期間実績	第3・第4四半期 想定レート	通期想定レート
	円	円	円
1米ドル	98.86	95.00	96.93
1タイバツ	3.23	3.06	3.15
1インドネシアルピア	0.0098	0.0088	0.0093
1インドルピー	1.69	1.60	1.65

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、FCC AUTOMOTIVE PARTS DE MEXICO, S. A. DE C. V. を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,198	24,195
受取手形及び売掛金	17,554	19,220
商品及び製品	2,348	2,681
仕掛品	2,923	2,893
原材料及び貯蔵品	10,751	10,324
その他	5,159	4,777
貸倒引当金	△8	△7
流動資産合計	62,927	64,085
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,929	26,597
減価償却累計額	△13,581	△13,676
建物及び構築物（純額）	13,347	12,921
機械装置及び運搬具	71,577	74,902
減価償却累計額	△53,384	△55,495
機械装置及び運搬具（純額）	18,192	19,407
工具、器具及び備品	11,883	12,226
減価償却累計額	△10,131	△10,453
工具、器具及び備品（純額）	1,751	1,772
土地	7,465	7,353
建設仮勘定	6,543	9,485
有形固定資産合計	47,299	50,940
無形固定資産		
のれん	756	619
その他	665	913
無形固定資産合計	1,422	1,532
投資その他の資産		
投資有価証券	7,823	8,249
その他	2,830	2,765
貸倒引当金	△45	△42
投資その他の資産合計	10,608	10,971
固定資産合計	59,330	63,444
資産合計	122,258	127,530

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,590	8,791
ファクタリング債務	2,003	2,240
短期借入金	291	96
未払法人税等	2,275	1,667
賞与引当金	1,382	1,518
その他	4,817	4,608
流動負債合計	19,360	18,922
固定負債		
退職給付引当金	1,586	1,574
その他	3,819	4,038
固定負債合計	5,405	5,613
負債合計	24,766	24,536
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,175	4,175
資本剰余金	4,566	4,566
利益剰余金	85,657	92,348
自己株式	△3,407	△3,407
株主資本合計	90,991	97,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,626	3,930
為替換算調整勘定	△5,264	△5,150
その他の包括利益累計額合計	△1,638	△1,219
少数株主持分	8,138	6,531
純資産合計	97,491	102,994
負債純資産合計	122,258	127,530

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	61,002	70,910
売上原価	50,317	58,192
売上総利益	10,684	12,717
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	625	641
給料及び手当	1,314	1,598
賞与引当金繰入額	208	246
退職給付費用	129	138
減価償却費	101	106
研究開発費	1,457	1,561
その他	1,680	1,949
販売費及び一般管理費合計	5,516	6,242
営業利益	5,168	6,474
営業外収益		
受取利息	187	173
受取配当金	70	81
持分法による投資利益	8	—
為替差益	—	538
その他	138	179
営業外収益合計	405	972
営業外費用		
支払利息	3	7
持分法による投資損失	—	24
為替差損	521	—
その他	28	38
営業外費用合計	554	70
経常利益	5,019	7,377
特別利益		
固定資産売却益	71	438
負ののれん発生益	—	63
補助金収入	1	3
法人税等還付加算金	—	181
特別利益合計	73	686
特別損失		
固定資産除売却損	107	80
特別損失合計	107	80
税金等調整前四半期純利益	4,985	7,983
法人税等	1,215	2,276
法人税等還付税額	—	△1,346
法人税等合計	1,215	929
少数株主損益調整前四半期純利益	3,770	7,053
少数株主利益又は少数株主損失(△)	504	△541
四半期純利益	3,265	7,595

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,770	7,053
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△906	288
為替換算調整勘定	△1,579	△520
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	△18
その他の包括利益合計	△2,494	△250
四半期包括利益	1,275	6,803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	807	7,775
少数株主に係る四半期包括利益	467	△972

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,985	7,983
減価償却費	2,895	3,539
のれん償却額	137	137
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△4
賞与引当金の増減額(△は減少)	△18	3
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△24	40
受取利息及び受取配当金	△257	△255
法人税等還付加算金	—	△181
支払利息	3	7
為替差損益(△は益)	110	△383
持分法による投資損益(△は益)	△8	24
固定資産除売却損益(△は益)	35	△358
負ののれん発生益	—	△63
補助金収入	△1	△3
売上債権の増減額(△は増加)	941	△1,959
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,327	66
その他の資産の増減額(△は増加)	124	614
仕入債務の増減額(△は減少)	△739	22
ファクタリング債務の増減額(△は減少)	△54	200
その他の負債の増減額(△は減少)	△504	△1,032
未払消費税等の増減額(△は減少)	3	117
小計	6,298	8,516
利息及び配当金の受取額	292	300
利息の支払額	△10	△15
法人税等の支払額	△1,667	△3,581
法人税等の還付及び還付加算金の受取額	—	1,036
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,913	6,256
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△594	△472
定期預金の払戻による収入	244	374
有形固定資産の取得による支出	△3,835	△6,124
有形固定資産の売却による収入	571	480
無形固定資産の取得による支出	△26	△292
無形固定資産の売却による収入	—	376
投資有価証券の取得による支出	△21	△45
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△52	14
貸付けによる支出	△1,877	△2,115
貸付金の回収による収入	1,672	2,885
その他	△13	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,933	△4,915

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	184	△232
長期借入金の返済による支出	△73	—
配当金の支払額	△802	△904
少数株主への配当金の支払額	△519	△538
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,210	△1,675
現金及び現金同等物に係る換算差額	△850	257
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,080	△75
現金及び現金同等物の期首残高	20,591	23,369
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	938	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,449	23,293

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。